

平成25年度 第2回安曇野市スポーツ推進委員全体会議 会議概要

- 1 会議名.....スポーツ推進委員全体会議.....
- 2 日 時 平成26年2月6日(木) 午後7時から午後8時15分まで.....
- 3 会 場 堀金公民館 2.F 講義室.....
- 4 出席者.....丸山会長・布山副会長・布山女性会長・内川委員・望月(健)委員・高沢委員.....
.....会田委員・真嶋委員・林委員・水口委員・松田委員・古屋委員・久根下委員.....
.....西沢委員・白井委員・青嶋委員・鹿川委員・浅野委員・下川委員・塩原委員.....
.....遠藤委員・三好委員.....
- 5 市側出席者.....竹田課長補佐・赤津主事・平瀬主事.....
- 6 会議概要作成年月日.....平成26年2月12日.....

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開 会
- (2) あいさつ
- (3) 協議事項
- ① スポーツ推進委員の任期について (事務局)
- ② 第4回市民スポーツ祭の反省及び第5回市民スポーツ祭について (事務局)
- (4) その他
- (5) 閉 会

2 審議の概要

① スポーツ推進委員の任期について (事務局より説明)

(事務局) スポーツ推進委員はスポーツ基本法第32条1項により規定、設置されているが、現委員の皆さんは今年度末で任期満了となる。基本的にはぜひ、引き続き皆さんにお願いしたいところであるが、事情により退任を希望される方がいる地域は、人数不足が原因で運動会や球技大会の運営等に支障が出ないように、地区会長を中心に協議し、地域で信任委員を選定してほしい。また感謝状や来期の委嘱状の都合もあるため2月中を目途に報告をお願いしたい。

② 第4回市民スポーツ祭の反省及び第5回市民スポーツ祭について (事務局より説明)

(事務局) 【今年度の反省】6月30日に堀金総合体育館でスポーツ交流会を含め総合開催式を行った。交流会はワンバウンドふらばーるバレーを行った。参加者数は約300人。その前日に行われたマレットゴルフを始め、17の競技会が無事行われた。

【来年度の計画】昨日第5回市民スポーツ祭実行委員会が行われ、いくつか決定した内容があるため報告させて頂く。期日は6月29日(日)で場所は堀金総合体育館。今年度はメインアリーナで交流会を行ったが、来年度は穂高会館が使えなくなる関係から、同日にソフトバレーの競技会をメインアリーナで行う提案がされ、承認された。ただいくつか問題もあり、これまでは交流会のためにスポーツ少年団等に動員をかけやすく、参加人数もある程度把握できたが、来年度はそれがなくなるため動員ができないわけではないが難しくなった。よってニュースポーツ等の内容について考えなければならない。使用できる場所はサブアリーナ、剣道場に常念ドームがどうかという所。参加人数がどれくらいになるのか不明瞭な所はあるが、こういったスポーツをやっていくかということを決めて頂きたい。それに伴いPRや動員など決めていきたいと思う。

(会長) まず今年度の反省について意見等あるか。 →特になし

次に来年度のことだが、体力テストとニュースポーツはやっていかなければと思

協 議 事 項 等

う。ただ動員数がわからないため、体協やソフトバレーの代表者が詳細を詰めてある程度それがわかった時点で相談したいがどうか。わかっている範囲ではソフトバレーの競技者が約170人と、各団体からの動員が去年と同じなら300人。

(委員) ソフトバレーの170人は別に考えた方がいいと思う。総合開会式と競技が両方メインアリーナというのは良くない。

(会長) ソフトバレーの競技はソフトバレーの方でやるため別になっている。

(事務局) 例年の状況から見ると総合開会式は9時から始めて10時までには終わるため特段問題はないと思われる。

(委員) 競技会の雰囲気の中に競技性の低いニュースポーツの体験を入れると異質な空間ができてしまうと思う。そうすると誰も出てくれないんじゃないかという心配がある。

(事務局) 競技をする人しかいないわけではないのでそういった人たちを対象にサブアリーナ等で行うことを考えてほしい。動員が何人あるから何をやらなければ、ということではなく、何をやっていきたいかという観点で決めていただいていると思う。

3 その他

(事務局) まず次回の日程について、しっかり決めてはいないが3月中旬を予定している。内容は今年度の事業報告等。また、その後には退任される方もいるため慰労会を予定させていただきたい。

次にみんなのスポーツという機関紙があるが、これまでの協議で来年度からは市では購入しないことになっている。ただ関東と全国の推進委員の表彰の要件に本機関紙の購読ということがあるため各地域でお金を出し合うなどして買ってもらいたいと思う。また、購入時は表彰の可能性が各地域で一番ありそうな人を考慮させていただき、その方のお名前で購入とさせていただきます。

(会長) 今年も各地域で買っているようになっている。地域内で回し読みをするようにしている。

(委員) 穂高は買っていない。地域で買っても回して読めるかわからないため。1部とっていただければいいのなら全体の会費から出してはどうか。

(会長) 1部というのは推薦者ごとに1部なければいけない。4人候補がいれば4冊なければいけない。ただ強制というわけではなくどちらにするかは地域毎でという話をしてきた。

(委員) 豊科はとっていないが、候補がいるなら当然とらなければならないと思っている。そこを把握しつつ地域に任せればいとおもっている。

(委員) 蒸し返すようで悪いが、これは市ではとる必要のない機関紙という認識なのか。

(事務局) 本自体を買えないことはない。(年間5,200円)しかし他にお金を払って市として特別に本をとっているというものはない。

(委員) 会費の中から一部補助のような形でもいいと思う。

(会長) それをやっていると年1人当たり1,000円の会費では足りなくなる。

(委員) 表彰は全員に係ることだから足りない分はみんなで出せばいいのでは。予備等が必要な面もあるのはわかるが。

(会長) 基本的には各地域で1部くらいはお願いしたい。

(委員) 表彰のために取るというのでは本末転倒。いい本なら地域で買うという形でいいのでは。

協 議 事 項 等

(委員) 各地域で協議した結果、市で1冊も購入しないというような状況になったら、ためになることも書いてあるため委員全員でお金を出して1冊買う、ということではどうか。 →全員了承

(会長) もう一点だが、昔はあった各地域代表の会議が今はない。なんでもみんなで集まると大変なため、そういった場を設けさせてほしいがどうか。特に予算等の関係してこない部分ではその場で決めていきたいが。

(委員) あった方が会議がスムーズにいくと思うので賛成。

(会長) 前やってたのがいつの間になくなってしまっただけのことなのでいいのではないか。 →反対意見なし

(委員) ワンバウンドをこれまで全域で推進してきたが、今一つなように感じるため、もう一息力を入れていかなければと思う。一部からは大会等で若い人とやっても面白くないから年代別でないとやりたくない、という話が聞こえる。各地域から3～4チームくらい出てくるようにならないと思う。

(委員) 堀金では冬季の分館対抗でワンバウンドを地道にやっている。バレーの楽しさを伝えていきたい。

(委員) 穂高の状況はまだ分館対抗まではいっていない。グループでやっている人たちが固まってきた所。ただソフトバレーの方が普及しているためそちらにシフトするかという状況。そちらを希望する声もあるが、競技性が強くなってきているので事務局としてはまだ踏み切れないような状況。

(委員) 明科は分館対抗の大会を初めて予定している。レベルはまだただが市民スポーツ祭の方にもチームを出している。ただ、他が強すぎるといような声があるのでレベル分けはした方が参加者が増えるかなと思う。ようやく広まってきたのでもう少しやっていきたい。

(委員) 豊科がやはり先進なのでそのあたりどうするか見せてもらえれば手本にする。

(会長) 豊科では経験者と素人のグループを分けている。去年からは初心者向けのチーム対戦を組むようにしている。

(委員) 豊科は毎週体育館に集まってやっているチームがあるため、そこには初心者では敵わない。よってグループを分けてやっている。今聞いた所ではある程度普及してチームが出てくれば分けてやりたいなと思う。是非ご協力をお願いしたい。

以上